

実践⑤ おはなしの木（与論町）

1 はじめに

2005年に当時の図書館長が、婦人読書会のメンバーに声を掛け有志を募り、メンバー数名で図書館に来館する子ども達を対象に読み聞かせをしたのが発足のきっかけです。

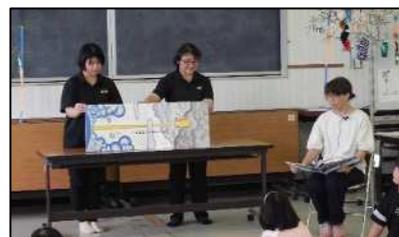
その後、町立図書館で公式のボランティアグループとして、2016年に「子ども達が様々な本やおはなしに触れ、子ども達の心に芽が出て大きく育ち、いつか大木になり実が生って欲しい」という願いからグループ名を付け、図書館ボランティアグループ「おはなしの木」として活動を開始しました。

2 主な活動

(1) 毎週日曜日のおはなし会と定例会

えほんコーナーの読み聞かせは、毎週日曜日午前10時半頃から絵本や大型絵本、紙芝居の読み聞かせを行っています。毎週のおはなし会を楽しみに来館する親子連れも増えてきています。

また、この日はメンバー同士の情報交換の場にもなっており、読み聞かせして子ども達の反応がよかった絵本の話や、季節のおはなし会で何をするかなどを話し合ったりしています。



(2) 季節のおはなし会

季節にあわせたおはなし会を年に4回行っています。開催時期は、5月・7月・10月・3月に行っています。毎週日曜日のおはなし会とは違い、町立図書館の視聴覚室に会場を移し、読み聞かせの他に行事のクイズや、季節の工作などを行い参加者が楽しく思い出に残るように工夫をしています。10月のハロウィンおはなし会では、参加者も仮装して楽しいおはなし会となっています。



また、会場では絵本の展示や紹介を行い、お家に帰ってからもおはなしの世界を楽しめるようにしています。

(3) 町立図書館主催のおはなし会に参加

町立図書館と連携し、図書館主催のクリスマスおはなし会においても、参加型の実演で物語を楽しめるよう趣向をこらし、毎回参加者を楽しませています。

3 おわりに

おはなし会にて紙芝居や大型絵本、おはなしや行事にまつわるクイズ、絵本の紹介や工作など様々な活動をしてきました。今後は更に、メンバー創作のおはなしや人形劇、与論の昔話や方言劇など多種多様な活動を行い、沢山のおはなしを子ども達に届けて、おはなしを好きになり本を読む事につなげていきたいです。また、子ども達がおじいさんやおばあさんといった、大人の人達から昔話などを聞き、おはなしを通して地域の事にも興味を持つきっかけとなって欲しいと考えています。子ども達が喜び、親子で楽しめるような活動を継続して行い、おはなしを通して子ども達と地域も繋げるような架け橋になりたいです。

最後に、グループの名前の『おはなしの木』は、「子ども達が様々な本やおはなしに触れ子ども達の心に芽が出て大きく育ち、いつか大木になり実がなって欲しい。」という想いを込めてつけました。その願いを叶えていくためにも少人数ではありますが、今後も活動を継続していきたいです。